

下野市自立支援協議会

全体会

- 地域課題の確認
- 地域課題について着手の優先順位、専門部会への割り振り
- 専門部会の活動報告
- 行政、他機関への提言事項の確認

課題の進捗報告
課題解決の提案



課題の割り振り
進捗確認



専門部会

- 地域課題についての協議、ワーキンググループへの割り振り
- 課題に応じたメンバー構成

課題の進捗報告
課題解決の提案



ワーキンググループへの協議、
課題の割り振り、進捗確認



ワーキンググループ

- 地域課題についての協議・調査・実践
- 課題に応じたメンバー構成
- 既存の組織、機関、団体を積極的に活用



協議会運営

事務局会議

- 会長、副会長、専門部会長、行政、委託相談、協働CO
- 協議会運営の検討、地域課題の整理、ハートフルプランの進捗管理

今後の課題

■ 地域課題抽出の方法について

現在協議会に報告されている地域課題は、下野市受理ケース会議から挙げられているものであるため、偏りが大きい印象。幅広く様々な機関から地域課題を吸い上げる仕組み作りが必要。

例)年に1回、全体会の中で各委員の活動する領域での課題を報告してもらう。

■ 地域課題への着手について

これまで報告されている課題についての進捗管理、評価がなされていない。これまでは専門部会において、課題へ着手してきたが、部会開催の頻度を考えるとできることに限りがある。そのため、実働を担う「ワーキンググループ」を体制に組み込む。専門部会では全体会からおりてきた課題について解決に向けた協議を行い、それを実行する機能を担っている組織、機関、団体に課題を振る(振り方も検討を要する)。振る場がない場合にはワーキンググループを創設することも検討する。専門部会では、ワーキンググループでの進捗を管理し、課題の進捗度について全体会へ報告をする。